

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月08日(木)

事務事業		空き家対策事業		担当課	自治振興課	担当係	空家対策係	管理番号	11211	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり		根拠法令 個別計画等	空家等対策の推進に関する特別措置法（空家法）				
	小項目	3	防犯・空き家対策の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		近年、人口減少や少子高齢化進展などの様々な要因により、空き家が年々増加しており、大きな社会問題となっている。空き家が適正管理されずに放置されると、防犯、衛生など、地域住民の生活に大きな影響を及ぼすだけでなく、地域活力の低下にもつながりかねない。空き家対策は所有者個人の問題だけでなく、地域あるいは市全体の問題として考えていく必要があるため、本市の空き家対策を総合的かつ計画的に推進していく。								
目的 ※何のために		空き家対策に取り組むことで、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。								
対象 ※誰・何を対象に		空き家の所有者・管理者等								
手段 ※どのように		市内の空き家の実態を把握したうえで、空き家の所有者等に適正管理を促し、空き家の解消に取り組むとともに、各種の専門的な相談に的確に応じ、助言や提案までを行うことができるよう、相談体制を整備する。								
成果 ※何を求めるか		空き家の適正管理を促進する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	8	地域振興費	空き家対策事業	4,632,399
本事業の 主な業務		・ 空き家所有者等への適正管理依頼文書の通知					・ 庁内関係部署との連携			
		・ 深谷市自治会連合会との協働による空き家の見守り					・			
		・ 特定空家等の認定・指導等					・			
		・ 関係部課長を構成員とする「空家等対策会議」の開催					・			
		・ 外部有識者を構成員とする「深谷市空家等対策審議会」の開催					・			
		・ 空き家に関する相談、苦情への対応					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画				・ 空き家除却等補助金 ・ 特定空家等の行政代執行	・ 空き家除却等補助金		
事業費	予算（現額）	5,391,000	5,655,000	19,011,000	14,281,000		
	決算額	4,834,155	4,632,399	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	5,500,000	3,000,000		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
	一般財源	4,834,155	4,632,399	13,511,000	11,281,000		
人件費	従事職員数（人）	2.60	2.85	4.80	4.80		
	人件費相当試算※	20,180,979	22,428,237	39,342,658	39,342,658		
総事業費試算		25,015,134	27,060,636	58,353,658	53,623,658		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	空き家軒数	目標値	軒						
		実績値		1,556.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		指標の性格から目標値は設定しない。/自治会調べ実数値						
	実績値の算出式								
活動指標 2	適正管理を依頼した空き家の軒数	目標値	軒						
		実績値		1,205.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		指標の性格から目標値は設定しない。 / 実績値						
	実績値の算出式								
活動指標 3	空き家相談件数	目標値	件						
		実績値		208.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		指標の性格から目標値は設定しない。 / 実績						
	実績値の算出式								
成果指標 1	空き家のうち「危険」「やや危険」の割合	目標値	%						
		実績値		15.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		指標の性格から目標値は設定しない。 / 危険やや危険空き家／空き家総数						
	実績値の算出式								
成果指標 2	空き家解消率	目標値	%	12.30					
		実績値		9.29					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成２８年度の実績値 / 本年度解消軒数／前年度空家軒数						
	実績値の算出式								
成果指標 3	空き家の解消軒数（解体等＋入居）	目標値	軒						
		実績値		161.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		指標の性格から目標値は設定しない。 / 実態調査による						
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	深谷市自治会連合会との協働による空き家の実態調査により、1,556軒の空き家を把握し、空き家の所有者等に適正管理を促す通知や啓発チラシなどを送付する事ができた。令和3年度に引き続き、空き家活用相談(空き家所有者の同意に基づく情報の外部提供)を行ったほか、県内初の試みとして、埼玉県司法書士会と日本赤十字社、深谷市が協働して「相続・遺言セミナー&相談会」を開催した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	空き家の解消軒数は前年度よりやや減少し、令和3年度の空き家軒数が増加したことにより、空き家解消率は減少し、目標値を達成することができなかった。空き家のうち「危険」「やや危険」の割合については、老朽化した空き家の所有者に対する継続的な啓発活動により減少傾向にある。
			評価者 空家対策係長 吉田 和博

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	地域の見守り活動をしてる自治会との協働による空き家の実態調査を平成26年度から毎年実施するとともに、調査結果をシステムのデータベースに登録管理し、事務の効率化を図っている。また、相談業務についても埼玉県司法書士会や不動産団体などと協力しながら、投入コストを抑えつつも様々な取組を行う事で空き家の解消に繋げる事ができている。
			評価者 空家対策係長 吉田 和博

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	現在の深谷市空家等対策計画が、令和4年度末までの計画期間となっており、次期計画を策定する必要がある。また、司法書士会や日本赤十字社との協力セミナーを開催するなど空き家発生予防の新たな取り組みを行って行く。また、今後も空き家軒数の増加が予想されるため、空き家所有者への新たな支援制度などについて検討していく。
達成状況及び その効果	庁内の対策会議や、外部委員による審議会の意見を伺いながら第2次深谷市空家等対策計画の策定を行った。また、県内初の試みとして、埼玉県司法書士会と日本赤十字社、深谷市が協働して「相続・遺言セミナー&相談会」を開催し、多くの空き家所有者の相談を受け付けた。さらに、空き家所有者への新たな支援制度として、空き家の解体補助や改修補助などについて検討し、予算措置を行った。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	空き家対策事業	担当課	自治振興課	担当係	空家対策係	管理番号	11211
<div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div> <div>□ ②現状のまま継続</div> <div>□ ③見直して継続</div> <div>□ ④目的達成による終了</div> <div>□ ⑤廃止を検討</div> <div>□ 委託化等の検討</div> <div>□ 成果向上のための改善</div> <div>□ 効率化のための改善</div> <div>□ 事業規模の縮小</div> <div>□ 他の事務事業と統合</div>		評価の内容説明					
		空き家対策の取組は、空き家を早期に発見し、所有者に対しての啓発活動や、相談体制の整備を行っている。令和4年度は、第2次深谷市空家等対策計画の策定や県内初の取組である「相続・遺言セミナー&相談会」の開催を行った。また、空き家所有者への新たな支援制度として、空き家の解体補助や改修補助などについて検討し、令和5年度の予算措置を行った。空き家は個人の財産であるが、空き家や所有者の状況により、解体や売買等が難しい案件については、補助制度の創設などコストを投入し取り組む必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	課長 石川 章一				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	令和4年度に検討し、令和5年度の予算措置を行った、空き家所有者への新たな支援制度の空き家の解体補助や改修補助などについて周知を行い申請を受け付けていく。また、令和4年度中に立ち入り調査および令和5年度の予算措置を行っている市内の危険な空き家1軒について、特定空家等に認定するとともに解体に向けた指導等を実施する。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	第2次深谷市空家等対策計画を基に、空き家の様々な課題を整理し、更なる取り組みを行っていく。

8. 評価指標グラフ

